

■ (21) 気分は「もしドラ」の女子マネ!

高校生の息子に勧められて「もしドラ」(ダイヤモンド出版)を読み、思わず涙してしまった。高校野球の女子マネが偶然、経営学の大家・ドラッカーの著書「マネジメント」に出会い、その理論に沿って甲子園出場を目指す、という人気の青春小説だ。女子マネになった主人公は「野球部にとって『顧客は誰か』」から考え、チームを改革していく。

朝日新聞社は10日、先生向けの無料ガイド冊子「新聞授業」を発行した。小中学校の教科書に「新聞」を扱った項目が多数登場することを受けた教育支援策だ。その編集作業でも議論になった。「冊子の『顧客』は誰か」と。メンバーは発想を変えようと努めた。

反省を込めて言えば、従来の冊子はどちらかと言えば、新聞社からの「一方通行」で相手はぼやけていたと思う。今回の編集メンバーが出した答えは、「教科書に出るなら新聞を使ってみようかな、と思い始めた先生」。そのイメージを持ちながら内容を吟味した。

「もしドラ」の野球部は「マネジメント」効果で強くなっていく…。さて、冊子は「顧客」に受け入れてもらえるだろうか。合格発表を待つ受験生のような心境です(山)